

令和4年度厚木市議会友好都市交流訪問団（糸満市）報告書

【概要版】

1 訪問期間 令和4年2月3日（金）～4日（土）

2 訪問先 沖縄県糸満市

3 訪問団 2人
[団長] 瀧口 慎太郎 副議長

[事務局] 山田 聡 議会総務課主幹

4 目的

平成30年8月4日に友好都市を締結した糸満市に、厚木市議会を代表して訪問し、議会間交流をはじめとする友好親善を図ることを目的とする。

5 訪問日程

2月3日（金）（1日目）

8時15分 厚木市役所 出発

11時30分 羽田空港（発） ANA471便

14時30分 那覇空港（着）

15時 サザンビーチホテル&リゾート沖縄

18時 厚木市・糸満市・網走市・都農町交流会

2月4日（土）（2日目）

10時30分 ホテル出発

10時45分 糸満フェア視察

11時00分 舞台挨拶観覧

12時00分 昼食

13時00分 シャボン玉石けん くくる糸満見学

15時25分 那覇空港（発） ANA470便

18時00分 羽田空港（着）

19時30分 厚木市役所 到着

6 視察等概要

2月3日（金）第1日目

(1) 交流会への参加

糸満市の金城^{きんじょう}議長、新垣^{あらかき}副議長、姉妹都市である宮崎県都農町の稲山^{いなやま}議長、友好都市である北海道網走市の金兵^{かなひょう}副議長とともに交流会に参加し、意見交換等を行い、友好親善を図った。

2月4日（土）第2日目

(2) 糸満フェア視察（道の駅いとまん）

糸満市の産業まつりである「糸満フェア」を視察した。ステージイベントも開催され、市内の保育園児による演舞や三線ライブを見学した。

「道の駅いとまん」は、全国の道の駅ランキングで上位にランクインするほどの道の駅で沖縄県最大級の農産物販売所や漁協の直営店が並んでいる。

糸満フェアには、15店舗以上、企業が出展しており、糸満市の姉妹都市である宮崎県都農町がブースを開設していた。

厚木市からは、ホルモン焼きの店舗が出店、また厚木市の物産も販売されていた。



(3) シャボン玉石けん くくる糸満

糸満市は海をはじめグスクや戦跡など沖縄をイメージさせる風景の集約された地域であり、市内各地域には長い歴史、豊かな文化を物語る名所旧跡、伝統行事や芸能など、有形・無形の文化資源がある。

糸満市観光文化交流拠点施設である、くくる糸満は、こうした魅力を情報として発信し、さまざまな体験や交流を図る場として、観光客の誘客や地域文化の発展を目的とする施設である。

当施設内の大ホール、講演会等が開催できる多目的室ホール、企画展示室、交流ロビーまた、施設に併設されたエイサーやダンスイベントが開催できる屋外ステージなどを視察した。

7 まとめ

今回の訪問は、交流会による意見交換会や糸満フェアの会場で糸満市、網走市、都農町との友好交流を十分に図ることができた。

特に、交流会の場では糸満市議会の金城議長、新垣副議長、また、議会事務局の皆様からも盛大な歓迎を受けた。

糸満フェアの会場では本市の観光振興課と連携し、マスコットキャラクターであるあゆコロちゃんシールの配布などを行い、本市のPRを実施することができた。

2日間の日程の中で、那覇空港までの送迎時において、車内からではあったが平和記念公園付近の見学や議会事務局からの説明を聴くことにより糸満市の歴史伝統や文化に触れることができた。

これから、お互いの市が共に発展し、市民が交流できる末永い友情を育めるようさらに努力していくべきと感じた、大変意義のある訪問であった。